

B) 熊本サンクチュアリでの死亡個体の病理学的検討

藤澤道子

熊本サンクチュアリで死亡した高齢個体の死因を病理学的に検索した。

C) ブータン・インドネシアにおける地域住民の健康調査

藤澤道子

ブータン王国ワンディ・サムテガン地域に住む高齢者を対象とした健康調査と、インドネシア共和国パプア州ソロバ地区に住む住民の加齢と動脈硬化の関連についての調査をおこなった。

<研究業績>

原著論文

- 1) Fujisawa, M., Udono, T., Nogami, E., Hirosawa, M., Morimura, N., Saito, A., Seres, M., Teramoto, M., Nagano, K., Mori, Y., Uesaka, H., Nasu, K., Tomonaga, M., Idani, G., Hirata, S., Tsuruyama, T., & Matsubayashi, K. (2014) A case of maxillary sarcoma in a chimpanzee (*Pan troglodytes*). *Journal of Medical Primatology*, 43: 111-114. DOI 10.1111/jmp.12086

報告

藤澤道子(2014) ブータン・サムテガンからの報告. ヒマラヤ学誌第 15 号 : 55-60.

2. 交流協定

学術交流協定

2013 年 3 月 31 日現在

協定国	協定先	協定先(アルファベット表記)	協定年月日	期間
ギニア	ギニア科学技術庁	La Direction Nationale de la Recherche Scientifique et Technique	1998.12.28	5 年間 (自動継続)
ギニア	ボソウ環境研究所	L'Institut de Recherche Environnementale de Bossou (IREB)	2004.1.4	5 年間 (自動継続)
スリランカ	スリジャヤワルデネブラ大学 社会学人類学教室	University of Sri Jayawardenepura (Faculty of Arts, Department of Sociology and Anthropology)	2005.8.18	10 年間
台湾	国立屏東科技大学 野生動物保全学研究所	Institute of Wildlife Conservation National Pingtung University of Science and Technology	2008.1.24	10 年間
タイ	タイ王国動物園協会	The Zoological Park Organization, Thailand	2009.9.16	5 年間 (2009.10.1~)
大韓民国	ソウル大公園(ソウル動物園)	Seoul Grand Park (Seoul Zoo)	2010.4.28	—
タイ	チュラロンコン大学理学部	Faculty of Science, Chulalongkorn University	2010.5.24	5 年間 (自動継続)
コンゴ民主共和国	生態森林研究所	The Research Center for Ecology and Forestry, Democratic Republic of Congo	2010.9.15	5 年間
インドネシア	アンダラス大学理学部	Department of Biology, Faculty of Science, Andalas University, Indonesia	2011.4.27	5 年間 (2011.4.1~)
バングラデシュ	野生生物保護局	The Wildlife Trust of Bangladesh, Bangladesh	2011.3.12	5 年間 (2011.4.1~)
タイ	カセサート大学理学部	Faculty of Science, Kasetsart University, Thailand	2011.4.25	5 年間 (2011.5.1~)
スイス	チューリッヒ大学獣医学部	The University of Zurich, Vetsuisse Faculty, Clinic of Zoo Animals, Exotic Pets and Wildlife	2012.6.20	3 年間 (自動継続)
コンゴ民主共和国	キンシャサ大学理学部	Faculty of Science, University of Kinshasa, Democratic Republic of Congo	2013.1.7	5 年間
インドネシア	ガジャマダ大学獣医学部	The Faculty of Veterinary Medicine, Universitas Gadjah Mada, Indonesia	2013.11.5	5 年間 (2014.1.1~)
インドネシア	ボゴール農科大学理数学部	The Faculty of Mathematics and Natural Sciences, Bogor Agricultural University, Indonesia	2013.11.13	5 年間

共同研究協定

日本	財団法人名古屋みなと振興財団 (名古屋港水族館)		2009.7.3	—
マレーシア	オランウータン島財団	Orang Utan Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	ブラウバンディング財団	Pulau Banding Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	サバ財団、ペトロリアム・ナショナル株式会社(ペトロナス)、サバ州森林局、サバ州野生生物局、マレーシア科学アカデミー	Yayasan Sabah, Petroliaam Nasional Berhad(Petronas), Sabah Forestry Department, Sabah Wildlife Department, Academy of Sciences, Malaysia	2011.6.29	5 年間

日本	西海国立公園九十九島水族館 「海きらら」		2012.6.16	—
日本	日本モンキーセンター		2012.10.15	—
日本	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構生理学研究所		2014.1.22	5年間

3. 学位取得者と論文題目

京都大学博士(理学)

John Sha Chih Mun (論文) : Ecology of Long-Tailed Macaques (*Macaca fascicularis*) and its Implications for the Management of Human-Macaque Interface in Singapore
(シンガポールのカニクイザルの生態とヒト・サル関係の管理についての研究)

京都大学修士(理学)

金 侑璃 : 断眠による感情への影響—ポジティブな気分—
 栗原洋介 : 屋久島海岸域に生息するニホンザルにおける採食行動の群間比較
 酒多穂波 : 随意運動の意図の知覚と運動準備電位
 寺田祥子 : テナガザル科4属にもセントロメア反復配列高次構造は存在する
 若森 参 : マカク属の尾椎形態比較
 江島 俊 : 鞭虫類(*Trichuris* sp.)の遺伝的分化から見た霊長類の地域分化および種間相互作用
 山田智子 : 漢字とひらがなによるストループ干渉～発達による変化～

4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

H Bouchet (フランス共和国、セント・アンドルーズ大学・博士研究員)
(2012.8.20～2015.11.19)

受入教員：正高信男

研究題目：野生ニホンザルの同種内—異種間コミュニケーションの様相に関する比較認知科学的研究

CFE Watson (京都大学霊長類研究所・研究員 (特別教育研究))
(2012.11.30～2014.11.29)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：霊長類における任意慣習と意思疎通ジェスチャーの文化的伝達

SJ Hyniewska (京都大学霊長類研究所・研究員 (最先端・次世代研究))
(2013.9.1～2014.8.31)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：日本人における表情の符号化と解読の検討

H Bernard (マレーシアサバ大学・准教授)
(2013.9.2～2013.11.30)

受入教員：半谷吾郎

研究題目：葉食性霊長類の生息数の決定要因

L Morino (ラトガス大学・講師)
(2013.9.20～2014.9.19)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：類人猿テナガザルの利き手と高次コミュニケーションに関する観察研究

P Sujiwattanarat (カセサート大学・研究員)
(2013.12.18～2014.11.30)